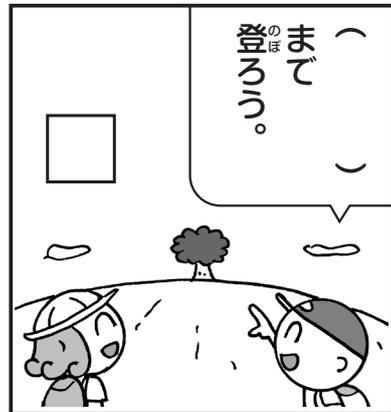


それ
この
その
あんな
これ
どう
あそこ
どっち



① () に当てはまる言葉を から
えらんで書き、使う場面を ア〜エ から
えらんで □ に書きましよう。

使う場面

- ア 話し手に近い場合
- イ 相手に近い場合
- ウ どちらからも遠い場合
- エ はつきりしない場合



どれも
一回しか
使えないよ。

- ① 雪とけて村いっぱいの子どもかな
春の季語 ()
- ② 五月雨を集めて早し最上川
夏の季語 ()
- ③ 名月をとってくれろと泣く子かな
秋の季語 ()
- ④ いくたびも雪の深さをたずねけり
冬の季語 ()



俳句は
五・七・五の
十七音で
作られるよ。

③ ①〜④の俳句の季語(季節を表す言葉)を
() に書きましよう。

③ 絵本の読み聞かせの会に
申しこみました。あれは
三日前のことです。



② しいのつもりで練習するよとい。
コーチからそんな助言を
もらった。



① 近所に新しいプールができた。
次の土曜日にかけて
泳ぐつもりだ。



② ①〜③の文章の中にある「こそあど言葉」を □ に
かこみ、それが指しているところを ― を
引きましよう。